

きれいな音でリコーダーをふこう（6時間扱い）

1. 題材のねらい

- リコーダーの音を味わって聴いたり，基本的な奏法に親しんだりする。
- リコーダーの音の組み合わせを工夫して楽しんだり，きれいな音色を感じ取って演奏の仕方を工夫したりする。

2. 教材について

（1）リコーダーとなかよし

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(1)ア，B(1)ウ

リコーダーの導入として行う，講師の先生を招いての「リコーダー講習会」である。リコーダーの歴史，様々な種類のリコーダーの紹介，リコーダーの基本的な奏法，簡単な楽曲の演奏と鑑賞など，これからリコーダーを身近な楽器として触れていく子ども達にとって，親しみをもたせるようなプログラムで手ほどきを受ける。

（2）シラシラソングで楽しもう（わらべ歌風ソング）

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(3)イ，A(4)ア，B(1)ウ

古くから子ども達の生活にも馴染み深い，わらべうたの旋律を使ったリコーダー遊び。旋律は，シ，ラの2音だけを使い，息づかい・姿勢・タンギング・運指に慣れるようにする。曲，というよりは，シ，ラを使った短い旋律をつくって，音まねしりとり遊び・お返事リレー（シ，ラで名前と呼び，返事をする）をするなど，遊びをとおしてリコーダーに親しむようにしたい。

（3）たこたこ あがれ ほか（わらべ歌）

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(3)イ，A(4)ア

わらべ歌の旋律をもつ楽曲を数曲演奏したり，短い旋律をつくって発表会をしたりしながら，運指に慣れ親しむ。「たこ たこ あがれ」他2曲は，既習のラ，シの他に新たにソの運指を加えた単純なリズム構成のわらべうたである。3音を組み合わせるとオリジナルのふしをつくったり呼吸やタンギングに気を付けたレガートな奏法を工夫したりしながら，リコーダーの美しい音色を感じ取るようにしたい。

（4）シーソーソング，ソラシソングは楽しいね／すなはま 作詞 佐田 和夫 外国曲

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(2)イ，A(3)イ，A(4)イ

救急車のサイレン，CMソング，チャルメラの音など，ソ，ラ，シの3音を使った身近な音色や既習曲，「すなはま」の曲を加え，短いお話をつくって楽しむ。「すなはま」の楽曲では，素朴な旋律，単純なリズム構成を生かし，レガートな奏法，ゆったりしたテンポでリコーダーのきれいな音色を感じ取るようにする。息づかい，テンポ，いろいろなタンギングの仕方（短い，あまりタンギングをしない，など）や場面に合う音色づくりを工夫しながら，音楽をつくる楽しさも味わうようにしたい。

（5）さん歌 編集 アルフォンソ 10 世／ロンディーノ 作曲 テレマン

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》B(1)ア，B(1)イ

「さん歌」は，単旋律歌曲集「聖母マリアの賛歌」の中の1曲で，ソプラノリコーダーと弦楽器，打楽器による編曲となっている。ゆったりとした序奏部に続いて，短くはあるが軽快な速度とリズムカルな旋律をもつリコーダーの演奏部分を聴き，リコーダーの透明感のある音色やこまやかな音の動きに関心を持ち，リコーダーのよさを味わうようにしたい。

また，「ロンディーノ」は，「ピオラ ダ ガンバとチェンバロ及び通奏低音のためのトリオソナタ」の第4楽章が原曲であり，ソプラノリコーダーを中心にした三重奏曲である。「さん歌」のもつリズムカルな曲想と落ち着いた雰囲気をもつこの楽曲との比較鑑賞を行い，リコーダーを中心としたアンサンブルの楽しさとともに，互いの音楽から感じられる共通点や違いなどにも気付くようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心意欲態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	リコーダーの音色に関心をもち、進んで聴いたり演奏したりしようとしている。	リコーダーによる表現のよさや楽しさを感じ取るとともに、音色の美しさを感じ取って、演奏の仕方を工夫している。	リコーダーの基礎的な演奏の仕方を身に付け、楽譜上で音を確認しながら、短い旋律を演奏している。	ソプラノリコーダーのきれいな音色や様々なリコーダーの音色の特徴、音が重なり合う響きの美しさを感じ取って聴く。
学習活動における具体的評価規準	①リコーダーに興味・関心をもち、いい音を進んで聴き取ろうとしたり、進んで音を出そうとしたりしている。 【Aと判断するキーワード】 □いい音の出し方や自分の音を常に意識した練習、試行 □友達に積極的に教えてもらおうとする姿 □いい音とそうでない音の違いを自分なりの言葉で表現 □真剣な聴き取り ②簡単な旋律をつくって表現することに興味をもち、音楽づくりを楽しんでいる。 【Aと判断するキーワード】 □ソ、ラ、シの組み合わせを進んで工夫した表現 □進んで友達や教師と合わせようと ③友達と一緒に協力しながら、進んで音楽づくりを進めようとしている。 【Aと判断するキーワード】 □積極的にお話作りのアイデアを出して □創意工夫した音づくりのための的確な発言やつぶやき	①リコーダーの美しい範奏や友達の演奏を聴いて、リコーダーによる表現のよさや音の美しさを感じ取り、演奏の仕方を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 □挿絵や範奏から見つけた自分なりの表現 □曲想を生かす演奏の仕方や音色のよさに気付いた的確な発言 ②友だちと一緒に音色に気を付けてリコーダーや楽器を演奏することのよさや楽しさを感じ取っている。 【Aと判断するキーワード】 □リコーダーの音色を美しくするための熱心な試行、アドバイス □しっかりした自分のイメージをもった楽器選びや音の出し方、入れ方 □独創的なアイデア □工夫点の共有	①自分の音をよく聴いて、リコーダーの基本的な奏法に気を付けながら演奏している。 【Aと判断するキーワード】 □正しい運指や息づかい □流れにのった演奏 ②楽譜上で音を確認しながら、リコーダーでソ、ラ、シの3音の運指に慣れ、演奏を楽しむことができる。 【Aと判断するキーワード】 □スムーズな運指 □流れにのった読譜 □音の長さや美しい音色を工夫した表現 ③ソ、ラ、シの音の組み合わせを工夫して、リコーダーで短い旋律をつくっている。 【Aと判断するキーワード】 □リレー奏での素早い即興表現 □正確な拍に工夫したリズムをのせた表現 □続く感じ、終わる感じを考えたふしづくり	①いろいろなリコーダーの音色や他の楽器の音色との違い、重なり合う響きのよさを味わって聴く。 【Aと判断するキーワード】 □音に対する鋭い反応 □音の違いや音の重なりについて、自分の言葉で発言、記入 ②対照的な楽曲を聴き比べ、曲想の違いを味わって聴く。 【Aと判断するキーワード】 □真剣な聴き取り □鑑賞中の自然な体のゆれ、反応 □曲想の違いに気付いた、的確な発言、記入 ③互いにつくった音のよさや工夫を感じ取って聴く。 【Aと判断するキーワード】 □友達の演奏への熱心に鑑賞 □つくった音への鋭い反応、つぶやき □よさや工夫点を発見し、的確な言葉で発言、記入

4 指導と評価の計画（6時間扱い）

○：取り扱い項目 ◎：取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体的評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
1	【リコーダーとなかよし】 ○ ソプラノリコーダーの音色を聴く。 ・ 音色の美しさを感じ取りながら、範奏を聴く。 ・ リコーダーの歴史についてのお話を聞く。 ○ 基本奏法を知る。 ・ 「息・指・舌・耳」の4つの基本を指導者に教えてもらいながら、自分の音色を確認する。 ・ 「ソ・ラ・シ」の3音使って、いい音の出	ア-①	A(1)ア		○			表情・行動観察 演奏聴取 つぶやき 発言 ワークシート
		ア-①	A(1)ア		◎			

	し方を見付け合う。 ・簡単なソラシソングを演奏する。 ○いろいろなリコーダーの音色を聴く。 ・4種類のリコーダーの音色を聴き比べ、気付いたことを話し合う。 ・リコーダーの音色の特徴について、気付いたことや分かったことをまとめる。	エ-①	B(1)ウ				○	
2	【シラシラソング・たこたこあがれ】 ○基本奏法を思い出しながら、「シ・ラ」のいい音探しをする。 ・「息・指・舌」を確かめ合いながら、「シ・ラ」の2音で指導者とタンギングのまねっこ遊びをする。 ・教師や友達同士で、お返事遊びをする。 ○「たこたこあがれ」を演奏する。 ・読譜して、階名視唱する。 ・全員で、奏法に気を付けて視奏する。 ・ いい音が出ているか、確かめながら、グループごとに2小節ずつのリレー奏をする。 ○「シラシラソング」をグループごとにつくって発表し合う。 ・「シ・ラ」の2音を使って、4小節の短い旋律をつくる。(個人) ・グループで発表する旋律を決め、「息・指・舌」に気を付けて練習する。 ・グループごとにつくった旋律を発表し、楽しむ。 ・感想・できばえを感想カードに書く。	ア-② ウ-② ウ-① ウ-③	A(4)ア A(1)イ A(3)イ A(4)ア			○ ○ ◎ ○		行動観察 演奏聴取 作品 演奏発表 発言 自己評価 感想カード 読譜チェック
3	【シーソーソング・すなはま】 ○シーソーソングを使って、リコーダーの基本奏法を確かめ合う。 ・CMソングや身近にある音の中からソラシの3音で演奏できるものを知り、「息・指・舌」に気を付けて練習する。 ・友達同士(ペア)で音を聴き合ったり、アドバイスを生かして練習し合ったりする。 ○「すなはま」の範奏を聴き、練習し合う。 ・範奏を聴いて、イメージを話し合う。 ・読譜して、個人練習する。 ・ イメージを表す奏法の工夫について、試してみたことを発表、ワークシートに記入する。 ・ 曲想を生かした表現になるよう、奏法に気を付けて練習する。 ・ワークシートに自己評価、感想を記入する。	ウ-① ウ-② イ-①	A(3)イ A(1)イ A(2)イ			○ ○ ◎		行動観察 表情観察 演奏聴取 発言 ワークシート 読譜チェック
4	【シーソーソング・ソラシソング・すなはま】 ○「ソラシソング」を使って、リコーダーの練習をする。 ・読譜して、基本奏法に気を付けながら視奏する。 ○「シーソーソング」「ソラシソング」「すなはま」を使って、グループでお話作りをする。 ・どんなふうにつくっていくか、教師の範奏やお話の展開の仕方を聴く。	ウ-②	A(1)イ			○		態度観察 表情観察 発言(グループ) 演奏聴取 学習カード

	・グループで曲や音、お話の展開について話し合う。 ・リコーダーで演奏する曲を決め、イメージに合う表現になるよう、楽器を選んだり奏法を工夫したりしながら練習をする。 ・友達に演奏を聞いてもらい、本時の感想や仕上げのための課題を学習カードに記入する。	イ-②	A(2)イ		◎			
		イ-①	A(2)イ		○			
5	【さん歌／ロンディーノ】 ○「さん歌」の演奏を聴く。 ・ソプラノリコーダーの音色、音の動きに気を付けて聴く。 ・他の楽器との音の重なりを楽しみながら聴き、感じたことや気に入ったところをワークシートに記入し、発表し合う。 ○「ロンディーノ」の演奏を聴く。 ・いろいろなリコーダーの音色を比べながら聴く。 ・他の楽器との音の重なりや、「さん歌」の曲想の違いを楽しみながら聴く。 ・2曲を聴いて、音色のよさや曲想についての感想をワークシートに記入する。	エ-①	B(1)ウ				○	身体反応 表情観察 発言 ワークシート
		エ-① エ-②	B(1)ウ B(1)ア				◎ ○	
6	【すなはま他】 ○グループで決めた曲を練習しながら、どの場面にどんな音を入れるか考え合う。 ・「すなはま」や選んだ曲の曲想に合う演奏の仕方を確かめ合い、練習し合う。 ・物語や曲のどの場面にどんな音を入れるか試しながら、グループ発表の仕上げをする。 ○リコーダーと工夫した音を加えて、互いに発表し合う。 ・リコーダー、物語の朗読、グループでつくった場面に合う音をつなげ、発表し合う。 ・友達の発表のよさに気づき、感想カードを書いたり発表し合ったりする。	ウ-②	A(3)イ		○			発言 行動観察 表情観察 発表(演奏)聴取 感想カード
		ア-③	A(4)イ		○			
		イ-②	A(2)イ		◎			
		エ-③	B(1)ウ				○	

	【たこたこあがれ・すなはま】 ○ シ、ラ、ソの運指に慣れ、旋律を演奏する。						
8	○ シ、ラ、ソの3音でふし遊びをする。 ・旋律をつくって発表したり、友達とリレー をしたりして楽しむ。	ア-③ イ-③ ウ-③			○	◎	観察 相互評価
9	【ゆかいなまきば・さん歌・ ロンディーノ】 ○ 旋律を歌ったり、旋律の一部をリコーダ ーで演奏したりする。	イ-②		○	◎		観察 相互評価
10	○ いろいろなリコーダーの音色や、それら が重なり合う響きを味わって聴く	エ-①			○		◎ 観察 ワークシート
11	【川はよんでいる】 ○ 主旋律を歌詞唱したり、リコーダーのパ ートを演奏したりする。 ・リコーダーのドの運指を覚え、音色に気を 付けて演奏する。	ウ-②		○	○		観察
12	○ 鍵盤楽器で後半の旋律を演奏したり、鉄 琴のパートを覚えたりする。 ・＃ファの音に気を付ける。	イ-②			◎		観察 相互評価
13	○ リコーダーと他の楽器を合わせて合奏 を楽しむ。 ・リコーダーと鍵盤楽器のグループに分かれ て演奏する。 ・鉄琴のパートを加える。	イ-④			◎		相互評価 自己評価

14	【ゆかいな木きん】 ○ 曲の感じをつかみ, 主旋律の歌詞唱や階名唱をする。	ウ-①		◎				観察
15	○ 曲の感じをつかみ, 主旋律を楽器で演奏する。 ・ 主旋律を鍵盤ハーモニカで演奏する。 ・ 赤梓のところに木琴を加える。 ○ いろいろな楽器の演奏に慣れる。	イ-②			◎			自己評価
16	○ パートを分担して合奏の工夫をする。 ○ 歌と楽器を合わせて楽しむ。	イ-④		○	◎			相互評価